

新幹線プレス

2013年 4月20日 No.110

発行者 成田 隆 浩

編集者 教 宣 部

J R東海労新幹線地本

食事もさせずに勤務指示!!! これじゃあ強制収容所なみだ!!!

地本は、4月19日に幹鉄事と「平成25年度実行計画」に関する経営協議会を開催しました。経営協議会終了後に、当日勤務だった成田委員長と森谷副委員長は、電話で職場の当直助役に電話連絡をし、速やかに出勤するように指示を受けて東京仕業検査車両所へと出勤しました。

二人は、制服に着替えて18:20頃に検修当直で点呼をとりました。現場管理者は、「これから勤務に就いてください」というものでした。成田委員長と森谷副委員長の「私たちは食事もしてないのですが、休憩時間はどうなりますか?」の問いかけにも「決まりではすぐに勤務に就くことになっています」として、すぐにも勤務につけようとして譲りません。

コミュニケーション能力の欠けた検修科長!!

二人と助役がやり取りをしているところに検修科長が加わってきましたが、担当した助役よりも会話ができません。

何を言っても、「勤務に就いてください」の一点張りで「勤務に就きますが、勤務に就いた後食事時間はどうなりますか」の問いかけに対しても「勤務についてください」。「質問という言葉を知っていますか」という問いにも「勤務に就いてください」この科長はコミュニケーション能力があるのか疑わざるを得ません。

社員の健康管理と安全についてどう考えているのか?!

検修科長曰く、「成田さんは18:20から所定の休憩時間なので休憩してください。森谷さんは休憩時間が終了していますので勤務に就いてください」でした。これでは管理者として社員の作業環境を十分把握し、保つという管理能力に欠けているばかりか、人間としての常識さえ持ち合わせていないということになります。

幸い、伊藤業務部長が幹鉄事の人事課窓口に電話をし、「早急に食事をとらせるように現場を指導するように」という抗議をしたことが功を奏し森谷副委員長は社員食堂の営業時間ギリギリに食事をとることができました。

しかし、幹鉄事への抗議がなければ森谷副委員長は、朝まで空腹のまま作業をする破目になっていたかもしれません。森谷副委員長が体調不良で倒れたら、そして、倒れた場所が悪くて大けがでもしていたら誰がどういう責任をとるのでしょうか?

まさか、「現場労働者の一人ぐらいどうなっても知ったこっちゃない」と、居直ることはないでしょうね。いや、あの人を人とも思わない様な社員への接し方をみると本気でそう思っているのではないかと疑ってしまいます。

そういえば、検修科長が若手社員に「テメェー、ふざけたらぶっ殺してやるからな」と、ヤクザまがいの暴言を吐いてたということが車両所の職場で話題になっていたことがありました…。